

第71回国民体育大会

我らかく戦う

期日 平成28年10月1日(土)～11日(火)
会場 岩手県盛岡市ほか

公益財団法人 北海道体育協会

我 ら か く 戦 う

競 技 名	種 別	評価	予想順位・得点	戦 い の 展 望	有 望 選 手 ・ チ ー ム	特 記 事 項
陸上競技	全種別	5	総合6位、得点90点	福島選手や水谷選手の優勝を含み、走・跳・投それぞれの選手の活躍により得点を重ね、総合入賞を目指す。	福島千里(100m・女子リレー)、水谷司(三段跳)、金井大旺(110mH)、城山正太郎(走幅跳)、伊深愛生(100m、400m)、ローレンスグレ(5,000m)、青柳唯(棒高跳)、京谷萌子(走高跳)、臼井文香(100m、リレー)、町井愛海(走幅跳)	馬場友也:日本選手権100m 6位、金井大旺:日本選手権110mH 3位、城山正太郎:日本選手権走幅跳 2位 小南拓人:日本選手権やり投げ 6位、福島千里:日本選手権100m 1位、京谷萌子:日本選手権走高跳 1位 青柳唯:日本学生陸上個人選手権 2位、伊深愛生:インターハイ400m 7位 ローレンスグレ:インターハイ5,000m 2位、水谷司:インターハイ三段跳 1位 臼井文香:インターハイ100m 6位、町井愛海:2015年全国日本中学走幅跳 3位 福島千里・右代啓祐:リオオリンピック日本代表、水谷司:昨年度国体優勝
サッカー	成年男子	3		一戦一戦を大事に1つでも多く勝つことを目標としている。	黒川聖平	田中基樹、田中康平:兄弟出場
	女子	3	団体8位	昨年まで一回戦敗退だったので、1つでも多く試合ができるようトレーニングに励んでいる。また、リーグ後半から調子が上がってきているので期待できる。	澤田法味(ノルディア北海道)	昨年優勝した三重県のGKが北海道代表として出場
	少年男子	3	団体3位	ボール状況を見て判断し、ピッチ全体を把握しながらスペースを活用したサッカーを目指します。	井川空、中村友哉、福田心之助、山保璃空(コンサドレ札幌U-18)	
テニス	成年男子	3	団体8位			篠川智大:日本テニスランキング S108位、丹野翔太:2014インカレシングルスベスト32
	成年女子	3	団体8位			丹野里佳子:日本テニスランキング S227位、池田捺未:日本テニスランキング S207位
	少年男子	2	団体8位			福永海斗:インターハイSベスト64、全日本ジュニアSベスト32
	少年女子	3	団体8位			照井妃奈:全日本ジュニアSベスト64、沖田優羽:インターハイSベスト64
ボート	成年男女	3		昨年、少年男子シングルスカルで優勝した木村晶に期待している。		
	少年男女	3		慣れない水域でのコンディション調整		
ホッケー	成年男子	2	団体8位	キーパーが学生時代に日本一になっているので、守りを固め強豪チームに挑んでいきたい。	山崎元:全日本男子選手権準優勝、全日本学生選手権優勝	
	成年女子	2	団体5位、得点20点	日本リーグに所属する4チームが出場するため、組合せによっては得点をあげることができる。		
	少年男子	3	団体4位	厳しい戦いだがどれだけ守備組織が発揮でき、少ないチャンスで得点を得るかがカギ。	佐藤善恭、黒濱純也、田村翔	布施葵、布施亮太:姉弟出場
	少年女子	2		昨年は九州代表を相手に攻めの姿勢で臨んだが力及ばず。昨年のチームと比較すると全国大会の経験が少ない選手たちではあるが初戦突破は果たしたい、上位入賞を目指す。		菅原楓、菅原茜:姉妹出場
ボクシング	成年・少年男子	4	団体8位、得点31.5点	関東・関西大学リーグ戦で活躍しており、波に乗れば各選手が期待以上の活躍が出来る。	細野恭兵:関西リーグ全勝、階級賞を受賞している 細野勝梧:今年の高校総体で準優勝、選抜大会3位	細野恭兵:今年度の全日本選手権のリード権を得ている 山川宗一郎:高校総体ベスト8
バレーボール	成年男子	3	団体8位、得点5点	おそらく相手は格上の実業団チームとなることが予想される。しかし、学生選抜チームの良い部分が出せれば1回戦突破も現実的である。国体という舞台で自分たちの力をどこまで出せるかがカギとなる。	柳町逸太(北海道学生選抜)	全日本インカレでベスト8になった選手が3人在籍している
	成年女子	2		昨年は一回戦敗退だったため、今年は一回戦突破を目標にチーム一丸で頑張ります。	白幡朝香(北海道学生選抜)	
	少年男子	3	団体7位	平均身長が185cmを超え大型チームのためブロックとスパイクでスケールの大きいバレーボールを展開していきたい。	城野翔平(とわの森三愛高校)	
	少年女子	4	団体5位	大エースと呼ばれる選手は不在だが、組織的なバレーボールで上位進出を向う。	湊ひかり(旭川実業高校)	旭川実業高校:インターハイベスト16、札幌大谷高校:インターハイ2回戦進出
体 操	成年男子	2	団体10位	選手全員が国体予選以上の演技でノミズで演技することができれば、10位以内の成績が見込まれる。	高間寛智、磯部司	高間寛智:全日本シニア体操競技選手権 2部 個人総合優勝
	成年女子	1	団体10位	選手が試合に臨むメンタル、フィジカルをケアし、最大限のパフォーマンスを発揮してもらいたい。		
	少年男子	1	団体25位	ミスをしないう演技で昨年度の26位を上回る。		
	少年女子	3	団体16位	3名の国体経験者を中心にミスのない演技を目指し、昨年度より順位を上げる。	加藤千晴	インターハイ団体19位
	新体操	3	団体15位、個人14位	活躍で期待される選手が2名、国体経験者が3名であることからチームとしての経験は十分。	石森葵、西岡慧里	石森葵:インターハイ個人総合21位
バスケットボール	成年男子	4	団体5位、12.5点	一戦一戦をしっかりと戦い、確実に試合をものにできるような展開に。	辻幹也	
	成年女子	3	団体5位、12.5点	学生のための編成であるが、運動量では他都府県には負けない、最後まで諦めない姿勢で一戦必勝を目指す。	齊藤麻未(日本体育大学)、尾崎早弥子(桐蔭横浜大学)	
	少年男子	4	団体5位、得点12.5点	激しいディフェンスからの速攻が継続するかがカギ。		佐々木睦己、佐々木悠斗:親子出場
	少年女子	3	団体2位、得点35点	スピードと高さを活かし、一戦一戦を丁寧かつ慎重に試合を展開させ上位入賞を目指す。	栗林未和:U-18女子代表	インターハイ3位
レスリング	成年男子	3			山本康稀(日大):全日本大学選手権優勝、国体・天皇杯準優勝	
少年男子	2					
セーリング	全種別	3	個人3位、得点6点	風の振れ、潮の流れとともに難しい海域ですが事前合宿で念入りに調査し戦います。	松苗幸希	松苗幸希:世界選手権日本代表、長崎国体5位、東京国体3位、岐阜国体5位
ウエイトリフティング	成年男子	2		53kg級の北岡、85kg級の梅本に期待がかかる。		
	少年男子	4		105kg級の松本は優勝争い、69kg級の造谷は入賞が期待される。85kg級の齋藤は入賞を目指す。	松本経丸:全国総体94kg級優勝 高橋和希(仙台大学)	
ハンドボール	成年男子	1		一回戦突破		
	成年女子	3		練習量に不安があるので、気持ちで負けないように積極的なプレーを心掛けたい。また単純なミスでの失点を無くし、学生選手を中心に守って走りチーム一丸となって戦いたい。	GK十亀、安田のキーピングから佐藤、辻、竹林、佐々木の学生選手がどれだけ守って走り、マルチプレーヤーの沼田とのコンビネーションが勝利への鍵。	
	少年男子	2	第16位	インターハイに出場した札幌西高校を中心に選抜チームを組んだ。得意の固いディフェンスから、素早い速攻に持ち込んでいきたい。	坊野泰生、木村翔之介	
少年女子	2		2年生が多い若いチームではあるが、練習してきたDFを武器に初戦突破を目指す。	田頭菜緒、稲垣菜々果		
自転車	全種別	3		昨年、少年で入賞した中川が成年に回り、どこまで食い下がれるか、高校2年生の大森光明がどこまで伸びていて食い込めるのか。		
ソフトテニス	成年男子	3	団体8位	昨年度から新しく導入された「シングルス」での勝敗が、チームの勝敗に大きくかかわってくる。シングルスはどう戦うのかプランをより鮮明に描き、チームとしての戦術の徹底を図る。	大塚悠平:昨年の国体でシングルス全勝	榎原耕平:インカレダブルスベスト8 河野斗夢:インカレダブルスベスト16
	成年女子	4	団体3位	昨年の主力メンバーが今年も選ばれ、関東学生1部リーグで活躍する選手も加わったため期待できる。	濱谷杏奈(神戸松陰女子大学)	
	少年男子	4	団体3位	ダブルフォワードを中心としたペアが2ペアあり、通常の方先方は通用しないことが武器。力を発揮出来れば上位入賞が可能。	坂本・森ペア	坂本・森ペア:全国選抜3位、インターハイ個人ベスト16
	少年女子	4	団体4位	エースの高橋・吉田ペアは両選手共にオールラウンドなプレーができる。組合せにもよるが初戦から接戦が予想される。	高橋・吉田ペア	札幌龍谷学園高校:インターハイベスト8、全国選抜3位 高橋・吉田ペア(札幌龍谷)、渡辺・菊池ペア(とわの森)が共にインターハイベスト32
卓 球	成年男子	4	団体4位	5位入賞を果たしているため、3位入賞を目指す。	厚谷武志(信号器材):関東学生チャンピオン	
	成年女子	4		前回少年女子の3位を上回りたい。		
	少年男子	3		昨年と同じメンバーなので経験を活かして頑張りたい。	佐藤桂輔(北海道科学大学高校)	
	少年女子	3	団体9位	大会までの成長度に期待し、5位入賞を目指す。	信田こども(札幌ノースJr)	
軟式野球	成年男子	4		投手を中心に守り抜き、ワンチャンスを得点にする。		
相 撲	成年男子	4		昨年個人ベスト8の矢後と山本が中心となり、昨年届かなかった決勝トーナメント進出をしたい。	矢後太規(中央大学)、山本大生	矢後太規:第54回全国選抜大学・実業団対抗相撲和歌山大会 個人準優勝
	少年男子	2		初出場の1年生が多いチームですが元気良く戦います。	宇賀塚、秋山(大野農業高校)	
馬 術	全種別	4	団体3位、得点6点 個人7位、得点42点	昨年の国体2位入賞だった楠木選手とリオオリンピック馬場の補欠選手だった林選手に期待している。	楠木貴成、林伸伍	広瀬楓:H27全日本高校馬術選手権優勝
フェンシング	成年男子	4		フルーレ:ベスト16、サーブル:ベスト8、総合:8位入賞を目標。		
	成年女子	3		フルーレ:ベスト16、サーブル:ベスト16、総合:8位入賞を目標。	眞田玲菜:フルーレインカレ優勝、準ナショナルチームのメンバー	
	少年男子	3		フルーレ:ベスト8		眞田昌浩、玲菜、涼太:親子出場
	少年女子	3		フルーレ:ベスト8		

競技名	種別	評価	予想順位・得点	戦いの展望	有望選手・チーム	特記事項
柔道	成年男子	4	団体3位	今年は、先鋒から中堅まで大学生、副将、大将にベテラン選手で構成されたチーム。先鋒から若い力を発揮し、中堅までに2点を先取、試合の流れを作り、後半の副将、大将のベテラン選手がしっかり抑えて勝ち進み上位進出を目指します。		
	成年女子	4		先鋒、中堅で勝負していきたい。		
	少年男子	3	団体3位	チームワークで失点を少なく繋いでいく。	木村、高橋	高橋佑人：インターハイ5位入賞
	少年女子	4	団体5位、得点7.5点	前半でポイントを取って優位に試合を展開していきたい。	北出みく	
ソフトボール	成年男子	2	団体5位、得点20点	失点を最小限に抑え、足を活かした攻撃で接戦に持ち込む。	大保拓真	
	成年女子	2	団体5位、得点20点	最後まで諦めず戦う。		
	少年男子	3	団体5位、得点20点	レベルは上がってきたが圧倒的に実践経験が少ないため、事前合宿で経験を積ませ互角に戦いたい。		
	少年女子	3	団体5位、得点20点	一つでも多く勝利できるよう全力で戦う。		
バドミントン	成年男子	3	団体8位	シングルスでの1ポイントを以下に取るかが重要となってくるため、対戦相手とのオーダーで結果が大きく左右される要素がある。相手の戦力を見極めたオーダーが重要と考えられる。	牧野・渡部ペア：日本ランキング14位	牧野・渡部ペア：2016年ランキングサーキット5位
	成年女子	3	団体5位	相手によりませんが、ダブルスでポイントを取らないとかなり厳しい状況になる。3人のうち国体の経験者は永野だけで学生2人は未経験ですがいきよいでポイントを取りたい。国体前に大会で結果を出して自信を持って国体を迎えたい。		塚本・石澤ペア：昨年の東日本学生でダブルスベスト8 永野：2年連続国体ベスト8
	少年男子	3	団体5位	昨年国体に出場した経験の豊富な大滝が柱となる。彼がまず安定してシングルのポイントを取ってあげ、大滝と絡むであろう宇高と遠藤がどこまで成長するか、また国体予選、インターハイとここ最近伸びている遠藤の爆発力にも期待したい。	大滝聖矢(札幌龍谷高校)	
	少年女子	3	団体5位	1年次から優勝経験の豊富な伊藤がどこまで安定した試合が出来るか、また、昨年補欠選手として国体に帯同しているので、安定の材料になることを期待している。		伊藤佳織：2015年全国選抜団体戦ベスト16 西尾樹莉：2015年全国選抜団体戦ベスト16
弓道	成年男子	2	団体8位、得点3点	稽古量の豊富な大学生を1の立・2の立に配置し、3の立に国体入賞歴を持つベテラン配置して安定感あるチームである。遠的・近的とも入賞をしたい。		
	成年女子	4	団体7位、得点18点	近的競技は1、2的の若手2名が、順調に的中を伸ばせられれば上位入賞も狙える。遠的競技は経験豊富な平野選手がチームを支える。	平野三千子	
	少年男子	3	団体8位、得点3点	近的・遠的競技共にベスト8に入ることに全力を尽くしたい。		
	少年女子	3	団体8位、得点3点	近的競技は予選通過を目標、遠的競技は短期間での練習なので、大会当日まで最大限努力して臨みます。		
ライフル射撃	全種別	4			佐藤匡哉(北海道科学大学高校)	国体東北・北海道ブロック予選優勝(大会新記録)
剣道	成年男子	5	団体3位	地元で勝って優勝を目指す。	先鋒：久保田、次鋒：安藤	
	成年女子	3	団体5位	昨年の世界大会出場の中堅と大将で初戦突破を目指す。		東北：北海道対抗優勝
	少年男子	4	団体5位	3年生を中心にチームワークをもって臨みたい。	奥村優太(東海大札幌高校)、牧野陸斗(恵庭南高校)	奥村：H27インターハイ個人ベスト16
	少年女子	4	団体3位	3年連続出場の牛木と福田を軸に、5人全員が攻撃力があるのでどこからでも取れる。	福田安優子(東海大札幌高校)、牛木麻理奈(札幌日大高校)	3年連続出場：福田安優子、牛木麻理奈
ラグビーフットボール	成年男子	3	団体6位、得点15点	国体、JAPANセブンスを経験したメンバーが中心のチームで今年こそ予選リーグを突破し、上位を目指したい。		
	女子	4	団体3位、得点30点	経験のある社会人選手と若手の活躍で予選リーグを突破し、決勝トーナメントで上位を目指したい。		
	少年男子	3				
山岳	成年男子	5	ボルダリング 3位、得点18点 リード 4位、得点15点	古坂選手は経験豊富かつ優秀な成績を納め、技量、経験とも全国的に見ても高いレベルにあります。松浦選手は少年男子の頃から国体に参加し成年男子になって2年目ですが練習拠点を東京に移し実力はぐんと増している。		
	成年女子	5	団体2位、得点21点	他県を見てもこれほど強力なペアを揃えている県は茨城県くらいしかなく実質一騎打ちになると想定してる。非常に強敵ではあるが、なんとか優勝を目指して頑張っていきたい。		萩原亜咲：クライミング・ワールドカップボルダリング25位
	少年男子	2	団体13位	毎日トレーニングしてきたことを出し切って悔いのない試合をしてほしい。		
	少年女子	3	団体8位、得点3点	初出場選手がいかに大会雰囲気飲み込まれず、強化練習の成果を出し、納得出来る順位を取れるよう挑みます。	北谷未紗、上原子瞳	北谷未紗：2016年日本ユース選手権ユースA リード17位、ボルダリング13位 上原子瞳：2016年日本ユース選手権ユースB リード28位、ボルダリング12位
カヌー	スローム ワイルドウォーター	3			山岡洋貴：近年入賞しているので、今年も期待している	
	スプリント	2	個人8位、得点2点	今回も決勝まで残ることを期待している。		
アーチェリー	全種別	4	団体7位、得点10点	成年・少年の出場枠が変更となり、成年の入賞が見込まれる。	馬場桃音	馬場桃音：インターハイ個人4位
空手道	全種別	3		ベテランと初出場者の調和を取り、上位入賞を目指したい。	岩本衣美里	岩本衣美里：世界空手道連盟女子形ランキング1位
クレー射撃	成年男子	4	団体3位、得点30点 個人1位、得点24点	スキート種目の個人優勝得点貢献とともに、トラップ種目での入賞を狙い総合入賞を獲る。	田畑篤、原隆将	田畑：H27全日本選手権4位 寺本：H27春季本部公式B級2位
なぎなた	成年女子	4		試合、演技とも臆することなく競り勝ちたい。		
	少年女子	4	団体8位	他県との練習試合量は少ないが、最後まで粘り勝ちたい。		
ボウリング	成年男子	4	団体8位、得点3点	競技種目は4人チーム戦、2人チーム戦及び個人戦となっている。昨年度、4人チーム戦で5位入賞を果たしたものの、僅差での入賞であった。大会では早期のコンディション把握に努め、チームワークを発揮し、まずはチーム戦での入賞を目指す。		第70回国体 4人チーム戦 5位入賞 2人チーム戦 4位入賞(小濱和音、保木慎吾) 個人戦 7位入賞(松永歳広)
	成年女子	4	団体5位、得点24点 個人5位・7位、得点7点	今年の4選手は共に国体の経験豊富な選手でチームワークは申し分ないと思います。2人チーム戦の組合せを思い切って変えて臨んでみようと思います。	松田悠	連続出場：保木絵理(9年連続出場、夫婦出場4年連続)
	少年男子	3		個人戦は力を出し切りスコアをまとめてくれれば入賞ラインに近づけるかもしれない。		連続出場：牧野零(2年連続)
	少年女子	3	団体8位、得点3点 個人8位、得点1点	工藤ひかる選手は過去2回出場した国体では入賞できなかったが、今回は支部と一緒に練習している高橋咲紀選手とペアを組む。東日本選手権の結果もあり、爆発力があるので期待している。	高橋咲紀、工藤ひかる	東日本選手権 2人戦優勝(高橋咲紀、工藤ひかる) 全国高等学校選手権 2人戦第4位(工藤ひかる)
ゴルフ	成年男子	5	団体1位	一人一人落ち着いて自分のプレースタイルをキープ出来れば優勝圏内にいる。片岡、佐藤の両選手は少年の部でも出場し経験者である。	片岡尚之、佐藤太地(東北福祉大学)、和田七星(大阪学院大学)	
	女子	5		実力のある3選手、国体に向けて調子を上げ、3位以内を目指したい。		
	少年男子	3	団体15位	将来を期待される高校1年の鳥海選手と高校3年の合掌選手、笹村選手のバランスの取れたチームであり、チーム力を発揮して上位に食い込みたい。		
トライアスロン	成年男子	3	個人20位	選手2名共大学生と若く競技経験が浅いため、実業団選手と比べ苦戦が予想される。		伊藤将隆：関東インカレ18位
	成年女子	3	個人8位	沢田はノンドラフティングのバイクとランで追い上げ、浦上はジュニア時代に培った技術を試合で発揮して欲しい。	沢田愛里	沢田愛里：2016年デュアスロン・ロング アジア選手権 優勝
高校野球(硬式)	少年男子	3	団体3位	夏の甲子園大会同様に、堅実な野球を目指すことで勝利に結びつけたい。	大西健斗、佐藤佑樹(北海高校)	第98回全国高等学校野球選手権大会 準優勝
高校野球(軟式)	少年男子	4		選手権大会では、ベストの戦いで1回戦を勝ち上がり、力を発揮できずに2回戦で敗退した。気持ちを作り直して優勝を勝ち取りたい。		第61回全国高等学校軟式野球選手権大会 2回戦敗退